

はじめに

多くの医療現場では、せん妄対策が急務となっています。かつてせん妄は、発症後の対策に重点が置かれていたように思います。近年は高齢患者の増加などによってせん妄の発症が加速度的に増えており、せん妄対策における医療者の関心は確実に「予防」にシフトしています。

せん妄の予防は、大きく一次予防（せん妄の発症を防ぐ）と二次予防（せん妄を早期に発見する）の2つに分けられます。実践的・効果的な予防対策を行うためには、対策内容を3因子（「準備因子」「直接因子」「促進因子」）ごとに分類し、時系列に沿って理解しておくことが有用です。また、せん妄は多要因が複雑に絡み合っただけで発症することから、できるだけ多職種でかかわることがポイントになります。そのためにも、医療スタッフ全体の知識の底上げが必要です。

これらのことから、①予防、②3因子、③時系列、④多職種介入、⑤スタッフ教育の5つがせん妄対策のキーワードと考えられます。

本書は、この5つのキーワードを特に意識して、医師やメディカルスタッフのためにまとめた超実践的マニュアルです。基礎編では、必ず知っておきたいせん妄の基礎的な知識、および標準的なせん妄対策の流れを具体的に解説し、実践編ではシチュエーションごとにやるべきことがすぐに確認できるように工夫をしました。いずれも図表を豊富に取り入れ、時系列に沿った内容になっています。ぜひ実臨床にお役立てください。

2019年9月

井上 真一郎